

NEWS LETTER

議員の皆さま ありがとう

こんにちは、お元気ですか？ 新しい年をむかえたと思っていたら、いつの間にか2月後半に入ってしまった。<時間>と、<子ども達の成長>が、とっても早く感じて驚く毎日です。

さて、今日は花色に北海道議会議員さんと旭川市議会議員さんが見学にいらっしゃいました。当日は、キャンセル続きで3名しかいなくて、ちょっぴり寂しい花色でしたが、3人の子ども達がきちんとお客様にご挨拶してくれました。目をあけて「こんにちは」と小さく口を開いてくれた迅くん。寝起きにたくさんのお客様がいて、ビックリしながらも呼びかけにご返事をして声を聞かせてくれたゆめちゃん。目をパチリと開き、不思議そうに見まわしながらニコっと笑ってくれたりこちゃん。「みんな、よくできました！ とっても立派でしたよ。」



昨年、花色が福祉避難所になったこともあり「どのような避難生活を施設で過ごすのか。」また、「医療的ケア児の支援で足りないのはどんな所か。」等、たくさんのお話ができ、耳を傾けてくださいました。「課題がたくさんあるね。」「健やかな発達と成長のために“できる事”を考えていきましょう。」「まず、このデコボコの雪道が解消されないと医療機器を必要とする子ども達の安全が確保されないですね。」と、子どもに寄り添ったお声を頂きました。

私たちの役目の一つとして、<重症心身障がい児・医療的ケア児の特徴を社会に知っていただくこと。>があります。社会認知のその先に、子ども達やご家族の暮らしの質を高めていけると考えています。
～例えば①、公共機関のトイレや授乳室に、ベッドがある事で医ケアやオムツ交換ができ、気軽にお出かけがしやすくなります。
～例えば②、私たちのような重症児通所施設も、地域に何軒かあり保護者様が選択できることが望ましいと思うのですが、花色のキャンセル率は40%です。身体状態が安定しない未就学児や、医療依存度の高い医療的ケア児は、体調変動でのキャンセルは仕方がなく、[キャンセル＝報酬が入らない]しかし[必要な職員配置は絶対条件]ですので“報酬の仕組み”を変えないと運営は成り立たちません。新規事業所が増えるどころか減ってしまいます。この今ある課題のひとつひとつを国にも、都道府県にも、地方自治体にも知っていただくためにも、本日のように見学にきてくださるのは、大きな一歩になります。

ご多忙中、貴重な時間を割いて率先してお越しくださった議員の皆様、ありがとうございます。これからも、どうか子どもたちの未来を明るくするためにも宜しくお願い致します。

北海道議会議員 真下 紀子 さま
旭川市議会議員 能登谷 繁 さま
旭川市議会議員 まじま 隆英 さま
旭川市議会議員 石川 厚子 さま
旭川市議会議員 中村 みなこ さま

心をこめて
ありがとう



「保護者さま、お写真のご協力もありがとうございます。」



冬まつり 車窓見学

2月8日旭川冬まつりの車窓見学が抽選であたり、限られた時間の中でしたが行ってきました！

大雪像の目のまえをゆっくりハイエースで通り抜けました。お友達は雪像が見えたかな？スピーカーの大音響に目を丸くしたり、屋台の香りにうっとりする姿がみられました。バギーではなかなか行けない旭川の冬まつりに参加する機会をいただきありがとうございます。



ドスン

vol.42
2024. 2.15

ガホ

重度障がい児支援 花色

NEWS LETTER

ドスン 2月

毎年、節分になると..
花色には鬼の大きな
歩く音が響きます！



「...えっ！イヤです。」



もう！
「どっか行って！」

節分

色々な性格の
鬼が現れます



花色の鬼①:「悪い子はいねえが〜！」

鬼②: 添い寝育鬼



居宅のお友達
も
豆まき



鬼③: トントントン「お邪魔しますよ〜。」



わたしたちは
バレンタインデー
の準備

Happy Valentine's Day

7ナイト



私たち
体育会系！

呼吸器つんで
そり遊び

タオルブランコ

花色で
7回目の
お誕生日

HAPPY BIRTH DAY



重症心身障がい児・医療的ケア児

花色のこども



「ぼく達、入院生活がながかったんだ。」



「痛いことをガマンしてきたよ。」
「ともだちと過ごすことが少なかったんだ。」
「医療機器がついていて遊べなかったんだ。」

こどもって、友達とあそび、一緒に取り合って、泣いたり妥協しながら、相手を思いやる事を学びます。関わりの中で喜怒哀楽が表現できるようになり、家族、友達、自分のことも大切にする事を学んでいきます。重症心身障がい児や医療的ケア児は、たくさん[痛い・辛い]体験をして、いつの間にか脳が委縮してしまっていることもあります。でも、色々な快体験や経験を重ねることで脳が育ち、生きやすさや、社会参画につながります。辛いことを、辛いままにしないために、花色は5つの視点でお子さまをサポートします。



「ぼくは、お母さんが決めてくれた事でいいんだ。」

じゃなくて!

健康・生活

生活リズムを整えよう
健康状態を維持しよう

やりとりをしよう
ごっこあそびをしよう

社会性 人間関係



たのしいこと!
自分からやりたくなること
“人”と関わっていこう
「できた!」をみよそう

運動・感覚

自分のからだを知ろう
姿勢を整えるって大事

仲良くなろう
伝える方法をさがそう

言語 コミュニケーション

認知・行動

「お!」って気づこう
色や数を知ろう



「これが好き! こんな事はイヤ!」

「こんな生活をしたい!」を伝えて

将来、親元から離れた後の自立生活を

生きやすいものに繋げていけるように支援いたします。

